

第1回茅野市新地域公共交通検討会議

開催日時	令和2年6月18日(木) 午後6時30分から午後7時50分まで		
開催場所	茅野市役所8階大会議室		
公開・非公開の別	公開・非公開	傍聴者の数	0人
議題及び会議結果			
発言者	協議内容・発言内容(概要)		
事務局	<p>第1回 茅野市新地域公共交通検討会議を開催。詳細は下記のとおりです。</p> <p>1 開会 これより第一回の会議を開催します。</p>		
茅野市長	<p>2 市長あいさつ 市民の方も含めまして、買い物難民の方や障害者の方への移動の足である路線バスをどのようにしていくかについて多くの課題が出てきています。 これまでも、買い物バスやスクールバス等、それぞれの分野で検討を重ねてきていますが、課題に対する解決策までには至っていない状況です。最近、市民の方も含めて、別荘の方々についても高齢化が進んできております。別荘の方については、ほとんどが自家用車で来られているという現状ですが、あと10年もすると高齢化が進み、自家用車での移動が難しくなります。今後はできるだけ電車に来ていただき、公共交通を利用して頂くようなことを進めていかななくてはいけないと考えています。これからの市民の方々の移動と別荘の方々の移動を考えていく中で、一元的な新しい公共交通体系が必要となります。AI等の仕組みを取り入れることも検討しながら、茅野市にとっての最適な交通手段を考えていければと思います。今回は1回目ですので正副会長を決めていただき、これまでの各分野での取組み状況をご説明させていただきます。今後の方向性も出していければと思います。本日はよろしくお祈りします。</p>		
事務局	<p>3 自己紹介 第1回の会議ですので、お一人ずつ自己紹介をお願いします。 茅野市長、茅野市副市長、アルピコ交通株式会社勝野様、茅野バス観光株式会社小池様、諏訪地区タクシー事業協同組合山谷様、ちの観光まちづくり推進機構矢嶋様、株式会社三井の森山田様、東急リゾートサービス安藤様、茅野警察署久保田様、東日本旅客鉄道株式会社荒井様、茅野市議会議員竹内様、不動産鑑定士矢崎様、茅野商工会議所商業委員長矢崎様、JA信州諏訪牛山様、諏訪中央病院矢崎様、諏訪建設事務所高嵩様、国土交通省長野国道事務所畦地様、長野運輸支局芦澤様、公立諏訪東京理科大学奥原様、前泉野地区社会福祉協会有賀様、茅野市区長会長平賀様、玉川地区コミュニティ運営協議会牛山様、前豊平地区コミュニティ運営協議会木川様、茅野商工会議所建設産業委員長篠原様、茅野高校PTA会長吉田様、東海大学付属PTA副会長伊藤様、茅野市社会福祉協議会北原様、諏訪中央病院高木様、市役所関係者の順番で名前と所属を自己紹介。</p>		

事務局	<p>4 案件</p> <p>これより案件の審査となりますが、会議の公開についてお諮りをさせていただきたいと思います。</p> <p>この会議につきましては、会議は公開、ホームページの会議録の公開につきましては、委員の氏名を省略して公開という形で行わせていただきたいと思いますと思いますが、そのようにさせていただいてよろしいでしょうか。</p>
全委員	異議なし
事務局	<p>ありがとうございます。それでは本日の会議については公開、会議録のホームページの公開につきましては、委員氏名を省略して公開をすることによってさせていただきます。</p>
事務局	<p>(1) 正副会長の選任について</p> <p>本会議の正副会長を選任したいと思います。最初に会長についてですが、ご意見のある方は挙手をお願いします。無いようでしたら事務局から腹案がありますのでよろしいでしょうか。</p> <p>会長に、篠原 敏さんをお願いしたいと思います。賛成のかたは拍手をお願いします。</p>
全委員	拍手
事務局	<p>次に副会長ですが、ご意見のある方は挙手をお願いします。無いようでしたら事務局から腹案がありますのでよろしいでしょうか。</p> <p>副会長に高木宏明さんをお願いしたいと思います。賛成のかたは拍手をお願いします。</p>
全委員	拍手
事務局	<p>それでは、会長に選任された篠原 敏さん、副会長に選任された高木宏明さんは会長席、副会長席をお願いします。</p> <p>ここからは会長に司会をお願いします。</p>
会長	<p>(2) 茅野市新地域公共交通検討会議について</p> <p>ただいま会長に選任されました篠原でございます。この茅野市がよくなるように不慣れではございますが、スムーズな会の進行に努めてまいりますので、皆様のご協力をお願いいたします。</p>
副会長	<p>副会長に選任された高木でございます。</p> <p>福祉21の代表幹事をしているので福祉の立場も含めながら議論に参加したいと思います。よろしくをお願いいたします。</p>
会長	<p>それでは案件(2) 茅野市新地域公共交通検討会議について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>設置要綱について資料1に基づき説明。</p> <p>設置目的、検討内容、任期、検討会議の運営について説明。</p>

会長	ただいまの事務局の説明について、ご意見、ご質問がありましたらお願いいたします。
全委員	特になし
会長	(3) これまでの地域公共交通（移動手段の確保）の取組について次に、案件(3) これまでの地域公共交通（移動手段の確保）の取組についてになりますが、これまで各関係部署で、それぞれ検討、実施していた取組について、委員の共有を図るため、取組の経緯や検討内容、実施内容、現状、課題について、関係委員から発表していただきたいと思っております。なお、時間の関係もありますので、お一人3分以内でお願いします。それでは、地域戦略課からお願いします。
事務局	資料2に基づき、茅野市の公共交通の現状と課題について説明。
委員	資料3に基づき、障害者施設等通所・通園費補助金、移動支援事業、タクシー利用料助成事業について今後の取組について説明。
委員	資料4に基づき、現在の行政支援について説明。
委員	資料5に基づき、茅野市二次交通調査アンケート結果の概要についても説明。
委員	特段の取組はございませんが、どのようなことができるのか一緒に考えていければと思います。
委員	資料6に基づき、茅野市立地適正化計画策定経過について説明。
委員	市内の国道県道上位幹線道路との道路ネットワークを重視し、市内一連の道路ネットワークを整備しております。道路管理者として参加させていただきます。
委員	資料7に基づき、湖東小学校スクールバス運行状況について説明。
委員	資料8に基づき、各地区で行っているお買い物送迎バスでの運行状況について説明。
委員	資料9に基づき、路線別バス停乗降者数について説明。 我々の交通弱者の移動手段を考える議員連盟は、昨年7月に発足しました。14名で交通弱者の移動手段を考える議員連盟を発足しました。各種団体との意見交換や実際にバスに乗車したりしながらヒアリングも行っています。本日プレス発表も行いましたが、新たに高校生になった市内4中学校の生徒にアンケート調査を行いました。そのアンケート結果についても高校生の送迎で一番多いのは家族の送迎でバス路線の利用は非常に低い状況であるが条件が揃えば利用するという回答でしたと説明。

委員	<p>資料 10 に基づき、これまでの経緯について説明。</p> <p>別荘地への移動手段として、日々私は車を使っているが、公共交通に関しては不便さを感じている。観光立国を目指している茅野市としては、致命的だと考えている。自家用有償がとても有力な解決策であるのではないかと思うが、やはり民間だけでは難しいため、改めて行政の力がないと厳しいという結果に至った。多くの行政とのご尽力があり、こういった会が開かれたことはとても感慨深い。全国に先駆けて行うことで大変有効な手立てになると考えています。茅野版交通スタイルを追求していただき世に出していただければと思う。</p> <p>今後は 60 歳以上の高齢者が 30 パーセントになる時代がくる中で、そういった高齢者が安全に移動できるような交通体系を整えたいと考えている。しかしながらハードルは高いと思いますので、茅野版交通スタイルを構築していただければと思っています。これからが本番であると思いますので、ワンチームとなって新たな取り組みに向けてビジョンを共有し、スケジュール感を明確にしながら世の中に出していきたいと考えています。</p>
委員	<p>資料 11 に基づき、アンケート結果について、JR 茅野駅からの 2 次交通は非常に大きな課題であると説明。</p>
会長	<p>ありがとうございました。ご発表いただいた内容をお聞きすると、多くの課題があることが分かります。この現状から地域公共交通を進めていくために、市民のみなさんと一緒に協力して、新しい地域公共交通体系を構築していきたいと思っています。</p> <p>平成の大合併で長野や松本や上田のように大きく広がったところがあり、村はずれまでいけば交通はストップしている状況であるが、茅野市については、観光地が居住地の奥にあるのが特徴であると思います。そういったところが今後の地域公共交通の鍵かなと思っています。</p> <p>ただいまの説明に対して、ご意見、ご質問がありましたらお願いします。</p>
全員	<p>特になし。</p>
会長	<p>(4) 茅野市における地域公共交通の方向性について</p> <p>次に案件(4) 茅野市における地域公共交通の方向性について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>資料 12 に基づき説明。</p> <p>朝茅野駅まで高校生を送迎している方は 500 人程度いらっしゃると思います。</p> <p>高齢者についても免許を返礼しなくてはいけない方が多いが、暮らしの足がないため、返したくても返せないという現状があります。茅野市においてもいつ重大な事故がいつ起きるか分かりません。早急に MaaS の実現が必要であると考えています。</p> <p>目指すところは、究極の市民ニーズである行きたいときに行きたい場所へ適正価格を実現していきたいと考えています。</p> <p>平成 30 年度から第 2 次茅野市地域創生総合戦略策定会議で議論を進める中で、茅野・未来都市構想策定会議を立ち上げ、10 年 20 年後の茅野</p>

	<p>市の未来像を議論してまいりました。議論の結果、まちづくりの最重要課題に地域公共交通が位置付けられると共に、これからの茅野市における地域公共交通は、地域にあるリソースを総動員すること、ハブ&スポーク体系への転換、地域住民の移動手段の確保を図るため、AI オンデマンドを取り入れた“新しい地域公共交通”への組換えを目指していく必要があるという3つの提言をいただいております。今後は、机上の議論ではなく、実際にトライ&エラーを繰り返していきたいと考えています。実証実験については、委員の皆様の合意を得て、実施してまいりたいと考えています。</p> <p>市役所の中でも一元的に検討する組織を立ち上げています。その先にはマスタープランの策定も行っていきたいと考えています。</p>
会長	<p>ただいまの事務局の説明について、ご意見、ご質問がありましたらお願いします。予算についての説明もお願いします。</p>
事務局	<p>これまでの路線に追加して実証実験を行うとなれば最低でも3,000万円位の費用がかかると考えられますので、そこは国等の支援を受けながら進めていければと考えています。</p>
会長	<p>実証実験についてご意見等ございますか。 実証実験にご同意いただき、進めていくことでよろしいでしょうか。</p>
全員	<p>特になし。</p>
会長	<p>ありがとうございます。</p>
会長	<p>(5) その他 その他ですが、事務局から何かありますか。せっかくの機会ですので、委員さんからご意見をいただきたいと思えます。</p>
委員	<p>公共交通についてはご尽力いただきありがとうございます。 公共交通の問題については茅野市も全国の自治体も同じでございます。運転手不足、利用者の減少、公費負担の増大等課題は多い状況です。ほとんど解決に至ってない。利用者側と一体となって解決策を考えていかなくてはいけないと考えています。茅野市については多くの分野の方の参画がある中でこういった議論をしていただき誠にありがとうございます。</p> <p>国の方では、6月3日には地域公共交通の活性化再生法の改正がなされ、地域公共交通マスタープランの作成を地方公共団体に努力義務として位置づけております。また計画の中には健康や福祉や建設との移動の連携をしていただく中で、二次交通、三次交通、地域の輸送の足を総動員して計画を立てていただくという法改正をさせていただきました。その中で大きなところで今後、国庫補助金計画に紐づけさせていただき、補助金を出させていただくこととなります。なのでこの場で議論していただきまして素敵な地域づくり、まちづくり計画を作策定していただければと思います。</p> <p>今後は計画策定のお手伝いをさせていただくとともに、MaaSやAIデマ</p>

委員	<p>ンドについての法律の解釈についても下支えをさせていただきます。</p> <p>今日は会議に参加させていただきました中で、非常にそれぞれの委員さんが茅野市に思い入れがあるんだなと感じております。素敵な茅野市という会長のあいさつにもあったとおり、JR 東日本全体をみても高齢化は切っても離せないといった中で、高齢者の方や障害者の方をいかに救っていくのかも課題であると考えております。コンパクトシティを言われている中で JR として何をさせてもらっていたのかなと思った時に弊社としてもメスをいれながらやっていきたいと考えています。そういった中で弊社としても MaaS とスイカを活用していく推進本部が6月28日に立ち上がる予定の中で、企画室内に専門部署も設置しています。これからますます地域公共交通だけではなく、MaaS を意識した公共交通体系を意識していきたいと考えています。二次交通、三次交通とも今後は皆様と勉強しながら連携をしていければと考えています。</p>
会長	<p>予定していた内容は終わりましたので事務局からお願いいたします。</p>
事務局	<p>5 その他</p> <p>今後のスケジュールでございますが、早期に実証実験を開始したいため、大変タイトではございますが、毎月1回会議を開催させていただきます。次回からは、メインフレームの協議と、先ほどご同意をいただいた実証実験の運行体制について、具体的な協議を行ってまいります。分科会も組織していきながら検討していきたいと考えています。</p> <p>次回開催日は7月28日(火)としますので、ご予定をお願いします。時間についても同じく18時30分からとさせていただきますと思います。</p>
事務局	<p>6 閉会</p> <p>閉会のごあいさつを、副会長の高木宏明様からお願いいたします。</p>
副会長	<p>本日は第1回目にして実りある会議であったと考えております。</p> <p>国で言っている地域包括ケアシステムとともに移動の自由が保障される基盤の整備が現実味を感じながら議論を伺っていました。これから実証実験ということですが時間はないと思いますので次の7、8、9月で結果を出していければと思いますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>本日はありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>